

採血を受けられる 患者さまへ

採血後はどれくらい
押しさえとけば
いいの？

お風呂に入っても
大丈夫？

どれくらい採血するの？

検査結果は
どれくらいで
出るの？



総合病院 浅香山病院

採血室では「臨床検査技師」が採血を担当しております。
十分な管理のもとに細心の注意を払って実施させていただいております。

採血室では血液検査・尿検査・便検査・喀痰検査の受付をしております。

月曜～金曜 8:30～17:00

土曜 8:30～12:00

8:30 よりも早く来られた場合は診察券を採血室前の受付機に置いて

出てきた番号の書いた紙を持ってお待ちください。

採血って・・・

腕を駆血帯(採血時に腕をしぼるゴム)でしばり血管を見えやすくしてから、体の中に流れている血液を検査の為にとります。

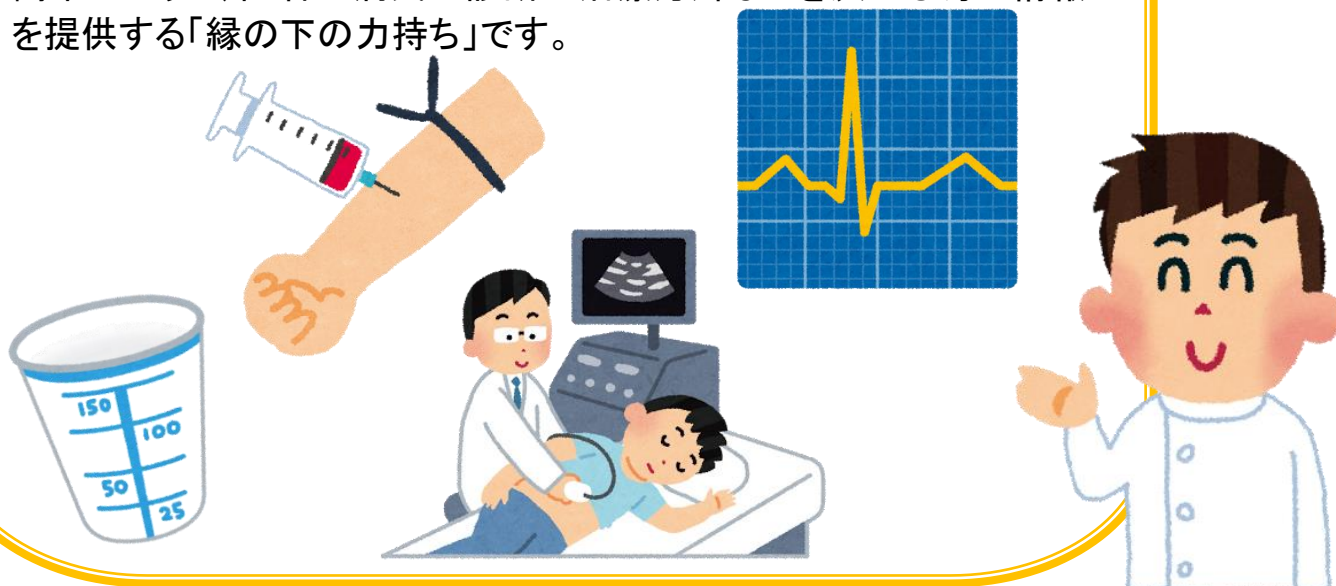
血管が分かり辛い場合は少したいたり温めたりして、分かりやすくさせます。

採血は、病気の診断・病状の把握を行う為に必要な医療行為です。

臨床検査技師って？

血液、尿などの検査をしたり、心電図やエコーをとれる厚生労働大臣認定の国家資格を持った医療スタッフです。

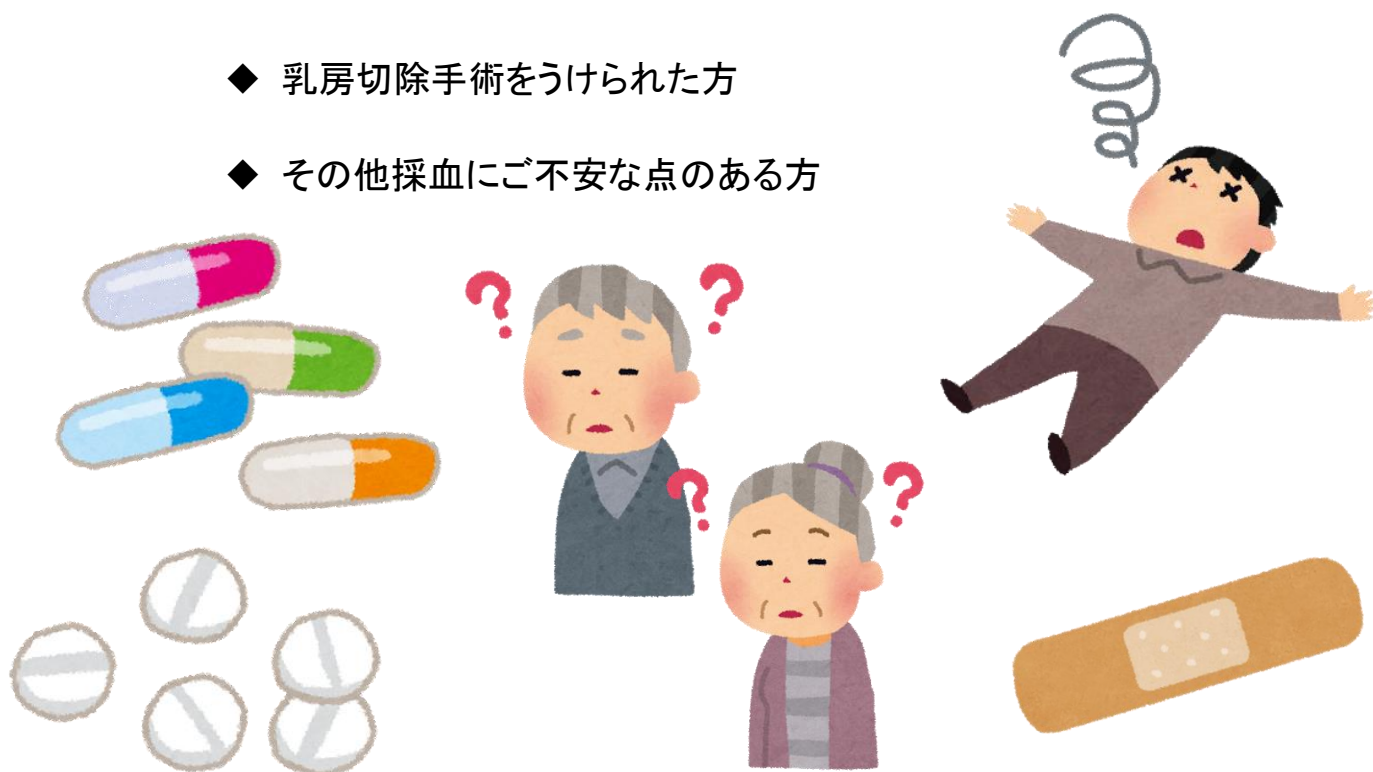
簡単にいうと、医者が病気の診断や治療方針などを決める為の情報を提供する「縁の下の力持ち」です。



採血を受けられる患者さまへのお願い

《下記に該当する方はスタッフにお知らせください》

- ◆ 以前採血中に気分が悪くなった方
- ◆ アルコール消毒、テープなどでかぶれたり、赤くなられる方
- ◆ 血をサラサラにするお薬を服用されている方
- ◆ 血液透析中の方
- ◆ 乳房切除手術をうけられた方
- ◆ その他採血にご不安な点のある方



採血を「間違いなく」「安全に」行うために、以下の事にご協力お願いいたします。

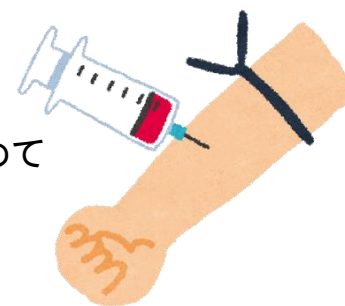
◆ご本人確認

採血を行う前に、ご本人確認の為に生年月日をおっしゃって頂きます。
「患者さま間違い防止」の為にしておりますので、ご協力お願いいたします。

◆再採血

針が血管にうまく入らなかった場合、もう一度採血にご協力お願いいたします。
※量が少なかった場合、採血に時間がかかった場合は、とれた採血で正しく検査出来るか確認しますので、5分ほどお待ちください。
正しく検査出来ないと判断した場合には、申し訳ありませんが再採血にご協力お願いいたします。

採血に伴う合併症



採血は基本的に安全性の高い手技であり、合併症の頻度はきわめて低く、軽症で済むものが多いとされています。

しかし、ごくまれに以下のような合併症が起こる可能性があります。

- ◆ 止血困難・皮下血種
穿刺後の不十分な止血などが主な原因です。
採血後には、刺したところをもまないでしっかりと押さえておくようお願いいたします。
- ◆ アレルギー
採血時の消毒用アルコール、テープなどにより、かゆみ・発疹をはじめとするアレルギー症状が出現する事があります。
- ◆ 神経損傷
採血後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続します。
約1万～10万回の採血に1回の頻度で起こるとされています。
多くは1週間以内に、大部分は3カ月以内に改善します。
- ◆ 血管迷走神経反応
迷走神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などを引き起こします。
心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。
報告によりさまざまですが、0.01%～1%の頻度で起こるとされています。

これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。
その際の医療にも、通常の保険診療が適応されます。



採血によって得られる診療の為の情報が、採血に伴う危険性よりも重要だと担当医が判断した場合に採血は行われます。

このような採血の必要性・危険性をご了解の上、採血をうけていただきますようお願い申し上げます。



採血 Q&A

患者さまからよくある質問を Q&A としてまとめました。

Q1 ご飯は食べたらだめなの？

A1 基本的にはお腹がからっぽの**空腹時**に採血します。
食後の採血ですと、血糖や中性脂肪が高くなってしまいます。
ただ、お食事されてから5～6時間あけて頂くと、正しい値に戻るので採血しても大丈夫です。
(定期的に採血に来られている方は毎回同じような時間帯、同じようなお腹の状態で来られたほうが良いです。)
検査によっては食事しても問題がない場合もありますので、主治医にお尋ねください。

Q2 どのくらいの量を採血するの？

A2 検査内容にもよりますが、**5～15ml** 程度です。
献血で体重 50kg 以上で 400ml が安全とされているので、採血で貧血になる事はございませんのでご安心ください。

Q3 なぜ何本も採血するの？

A3 検査する項目により**必要な採血管(血液を入れる試験管)が違う**からです。
採血管の種類によって、中に入っている血液の成分を検査に適した状態に保つための薬が違います。
検査項目と採血管の種類については「臨床検査のご案内」に詳しく記載していますので、そちらをご覧ください。

Q4 検査結果はどれくらいで出るの？

A4 病院内で検査している血液検査、尿検査は**約 1 時間**で検査結果を報告できます。
外部に委託している検査に関しましては、**1 週間程度**かかります。

Q5 血液黒っぽくない？

A5 血液には、動脈血（肺から酸素をもらった血液）と静脈血（全身に酸素を運び終わった血液）があります。

動脈血は赤っぽく、静脈血は黒っぽく見えます。

静脈血は肺静脈以外の全身の静脈に流れています。

採血は静脈からとるので、黒っぽく見えても異常な事ではありません。

Q6 採血後はどれくらい押えとけばいいの？

A6 **もまずに 2～3 分**しっかり押さえておいてください。

血液をサラサラにするお薬を飲まれている場合は 5 分押さえる必要があります。

押さえる事により、外出血（体外への出血）・内出血（体内での出血）を防ぎます。

個人差もありますが、2～3 時間ほど経ちましたら針を刺した傷がふさがってきます

ので、絆創膏^{バンソウコウ}をはがしても大丈夫です。

Q7 お風呂に入っても大丈夫？

A7 **大丈夫**です。

採血した場所を強くこすらないようにだけ注意してください。

Q8 毎回同じところで採血しても大丈夫？

A8 **大丈夫**です。

ただ、毎回同じところで採血していると血管がかたくなり採血し辛くなってしまいます。

採血し辛い場合は採血担当者にご相談ください。

